

金平茂紀講演会のご案内

「第四の被曝」を広める会 代表 大蔵律子

1958年7月12日、アメリカは強制移住させたビキニ環礁で水爆実験ポプラを行いました。国連の海洋調査に参加した海上保安庁の測量船「拓洋」と巡視船「さつま」の乗組み員113人が2日後の7月14日に南太平洋上で被曝し、一年後の8月3日に拓洋の首席機関士の永野博吉さんが白血病で死亡しました。妻の澄子さんは国の役人から「アメリカもからむことだから秘密、秘密」と「秘密」にすることを強要されました。NHKの取材班が訪れるまでの65年間、澄子さんは子どものアケミさんにも父の死について一言も話すことはありませんでした。NHKの取材で65年間の思いを話し始めました。

これがNHKスペシャル「封じられた“第四の被曝”～なぜ夫は死んだのか～」として2024年9月15日報道されました。番組を視聴した遺族の住む平塚・茅ヶ崎市民を中心にして「封殺された“第四の被曝”」をこのまま無かったことにはできないとの思いで会が結成されました。

会を結成して一年。上映運動は大きく広がっています。なぜ「被曝は微量なので白血病とは関係ない」と国は結論づけたのか。遺族に秘密を強要したのはなぜか。その背景にある日米政府の“密約”とは何か。被曝く68周年にあたり、金平茂紀さんによる講演会を開きます。皆さんのご参加を呼びかけます。

1. 期 日 2026年 **7月11日(土)** 午後1時30分～4時30分 *開場は午後1時

2. 場 所 **平塚市中央公民館 小ホール** (4F) 平塚市追分1-20 0463-34-2111

3. 内 容

(1) 講 演 演題 **日本人と原子力／忘却の果てに**
～広島・長崎・ビキニ、そして第4の被曝の末に～

講師 **金平茂紀氏**



1953年、北海道旭川市生まれ。ジャーナリスト。1977年にTBSに入局、2022年に退社するまで一貫してテレビ報道の取材現場で記者、ディレクター、キャスターなどを歴任。モスクワ、ワシントン両支局長、『筑紫哲也NEWS23』編集長、報道局長、『報道特集』キャスターなどを歴任。2004年度ボーン上田記念国際記者賞受賞。2022年度外国特派員協会「報道の自由賞」受賞。早稲田大学客員教授(2013年～2022年)や沖縄国際大学講師などで教壇にも立った。著書多数。最新刊『流れにさからう』、『原発回帰を考える』(共著)。日本ペンクラブ言論表現委員会委員長。オンライン・メディア『IMAGINE』を運営中。

(2) 遺族のお話、他

4. 参加費 資料代として 500円 (学生無料)

5. 参加申込 hiromeru19580712@gmail.com

(名前(ふりがな)、電話番号、住所:市町村名記入)

問合せ: 渡辺 090-1555-5090

大蔵 0463-55-6825

6. その他 *託児ご希望の方はご相談下さい。6月19日迄に。

平塚市中央公民館へのアクセス

【電車・バス利用】

JR平塚駅北口バス乗り場4番

乗車: 平63、平65、平68、平97、平62

下車: 江陽中学校前、徒歩1分

【徒歩】平塚駅北口、西口より徒歩15分

